



安全を第一に、
楽しく！
できる時に
できることを！

contents

★8月例会案内〈8月26日:土曜〉

「研修会」:チェーンソーの
基礎知識と整備について

..... 2

★《森づくり啓発シリーズ》

後進へ技術伝承 part 2

簡易製材機の講習会:竹原

..... 3

★7月部会報告

里山部会 : 佐々木

クラフト部会: 佐渡

..... 4

★樹木いきいき講座<その20>

: 藤原

★今月のひと枝:マルバノキ

..... 5

★8月・各部会の活動案内他

・24時間テレビ立ち合い募金に参加

..... 6



～後進へ技術の継承を:電動目立て機で目立て中～ 簡易製材機講習会 part2 P3にて報告

私たちが 森づくりを応援しています。

- ◆株式会社ニシナ屋珈琲 ◆ゆめみらい株式会社
- ◆株式会社東和テクノロジー ◆こだまクリニック
- ◆中国新聞販売店会「ちゅーピーの森」づくり
- ◆イオンスタイル広島府中・マックスバリュー西風新都店
(イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン)

《 ご支援を誠にありがとうございます。順不同・敬称略 》

『もりづくり 私にできることから』をモットーに活動

みんなで森づくり:健康で生き生きした森を育てます。
森を育てる技術を磨く:森づくりを学び、日々実践・研鑽。
森から学ぶ:人と森との関わりを学びます。
森の恵みを伝える:恵みを利活用し、拡げる活動。

例会

倶楽部のメイン行事(原則第4日曜日)
地域と共に活動。技術安全研修を実施。

もりメイト倶楽部 Hiroshima は1997年から活動している団体です。
広島市周辺の里山等の整備や勉強会のほか、会員の得意分野ごとに多彩な部会を設け、幅広い活動を展開しています。

ぜひ一緒に、美しい森を未来に残し伝えるボランティア活動に参加してみませんか。私たちはあなたの力を待っています!

広島市民賞、ひろしま県民活動県知事賞、広島ユネスコ活動奨励賞、
全国林業普及協会会長賞など受賞歴多数。

案内



8月例会は



恒例「研修会」。チェーンソーの基礎知識と整備!!

チェーンソーの整備に関して、プロをお招きし“基本のき”を学びます。

「ちゃんと点検した筈なのにエンジンがかからない、かかりにくい」など、イザ使用する際に困った事はありませんか?今回は、道具を通じて『笑顔』と『感動』をポリシーとされ、山の道具他、様々な道具を販売・修理をされている「藤原商会」のプロを講師に招き、チェーンソーについての取り扱い、トラブル解消などの座学&実技を行います。実践に役立ちます。ぜひご参加を!



◆日 時：8月26日(土曜) 9時00分~14:00

◆会場：広島市農林水産振興センター 研修室
※ 広島市安佐北区深川8丁目30-12 ☎082-845-4770

◆持参物：弁当・飲み物・筆記用具・名札

※ ご自分のチェーンソーをお持ちの方はご持参ください。
不具合のある箇所など質問してみても?

◆申込み：8月18日(金)までに各班長へ連絡。

※ 賛助会員その他参加希望の方は
下記へ電話かメールにてご連絡下さい。

090-6419-7531 : info@morimate-ch.com

9月の例会は、昨年に引き続き大竹市松ヶ原の「河平連山」登山道の整備を予定しています。



後進へ技術の継承を！！part2 ～簡易製材機の使い方:湯来町松波邸にて～

森の資源となる間伐材をきれいに製材して利用しようと、11年前に「セブン・イレブン記念財団」から助成金をいただき、簡易製材機を購入しました。しかし倶楽部の高齢化が進む中『後進へぜひ技術の継承を』との思いから熱意ある若い人に向け講習会を実施。今回は製材機の仕組みと運転が主でしたが、今回は、製材機の肝となるブレード(刃)の研ぎ方とアサリをとる方法についての講習を行いました。



製材機スタート！



製材機ブレード(刃)のアサリを作る

前日までは、台風並みの大雨でどうなるか心配していましたが、快晴の中で講習会が出来、実りあるものを得ることができました。

今回は、講習対象者として6名の参加によって実施しましたが、今回は3名の方が都合悪く欠席となりました。新たに製材に興味のある新人が2名加わり(佐々木綾子さんの紹介)指導する側も力が入りました。今回は製材機の仕組みと運転が主でしたが、今回は、製材機の肝となるブレード(刃)の研ぎ方とアサリをとる方法について講習しました。

新人2名が加わりましたので、丸太の設置及び製材機の運転を前回のやさしいを兼ねて始めましたが、^{せつさく}切削が下がってブレードが外れる状態になりストップしました。またトラブルが発生しましたが、原因は今までの経験からブレードのアサリが少なくなったと判断し、真新しいブレードに交換した結果、正常な状態で切削することができました。これも技術の習得の一つとなりました。午後からは、ブレードの刃研ぎとアサリ(左右に刃先を曲げる)をとる作業に入りました。しばらくこの道具を使っていないので、写真を見ながら組立し、皆さんのお知恵を借りながらなんとか使えるようになりました。それからスムーズに進み4本のブレード研ぎをすることができました。

以上で、今回開催した簡易製材機取扱講習会のすべてを終了し、若い人への技術を継承する目的を叶えたのではないかと思います。

単純な簡易製材機ですが、取扱説明書もなく使いこなすには、失敗しながら経験を積んで手順書を作っていくことも必要かと思っておりますので、受講した人には大いに期待しています。今後は、クラフト部会の材料づくりの空いた時を狙って、この製材場所の整理と現在ある丸太の製材を実施しますので、皆さんのご協力をお願いします。

7月2(日) 顧問：竹原 弘 記

今回の講習会では、主に製材機のブレード砥ぎとアサリとりを体験しました。どちらの作業も専用の器具と台があり、その台にブレードをセットしてハンドルやレバーを動かせば、新人の私たちでもなんとか形になりました。ただ、作業よりもその準備のほうが大変だったと感じました。親子ほど歳の離れた大先輩方が過去の写真を見ながら専用の器具と台を組み立て、そこにブレードをセットしている姿を見て、将来、自分にも息子と同世代の人たちにこの技能を継承できるかな？と不安になりました。

ただ、私を含め3人の受講生が写真やメモを取っているので、誰が来てわかるマニュアル整備が次の課題かと思えます。貴重な講習会を企画してくだり、丁寧な指導をしてくださった諸先輩方、誠にありがとうございました。

2班：徳永 淳

- ・講習受講者：吉村、徳永、佐々木、新田、長門
- ・講習講師及びオブザーバー：磯貝、竹原、松岡、末本、原島、本廣、見勢井、山本、高杉、松波

《今回の実施した内容》

- ① 前回研修のおさらいとして製材機の取扱方法の説明
- ② 丸太のセットの仕方
- ③ 製材機の運転方法及び体験
- ④ チェーンソー製材機の組立・製材の実演
- ⑤ ブレード(刃)交換の手順
- ⑥ ブレードの刃研ぎ
- ⑦ ブレードのアサリとり



妙國寺スクウスクウの森で行った里山部会。梅雨で長雨が続けている中、当日の朝はくもり。しかし、正午前後に雨が降り出す予報だったので、午前中で終わるよう、速やかに作業に取り組みました。主な作業は、以前伐倒して長いまま玉切りされているアベマキ、シラカシを薪割用に短く玉切りする作業と、新人会員2名が参加しておりましたので、伐倒の際の安全の確認方法、受け口、追い

口、ツルを残す等の伐倒方法の基本、人工林のしくみなどをベテランの砂原さんに教わりながら作業を行いました。

午前中に終わる予定のそれぞれの作業でしたが、始まって間もなく結構な雨が降り出し、1時間足らずで終了してしまいました。それでも玉切り作業は無事終了し、新人教育は講師の砂原さんのわかりやすく丁寧な指導で、大変有意義な研修となりました。参加人数10名



曇り空の下で集合。朝のミーティング



伐倒作業の長門さん



砂原さん(右)に指導を仰ぐ新田さん(中央)

初参加の新入会員お二人からの感想

■『雨の中、初めて杉の間伐作業に友人(長門さん)と二人で参加させていただきました。ご指導いただきながら、直径が15㍻に満たない少し曲がった杉を、手鋸で受け口、追い口を加工、思った通りの方向に倒れました。なかなか気持ちのいいものです。直接ご指導いただいた砂原さんや応援して下さった皆さんと、ここまで成長しながら伐倒した杉に感謝です。』新田泰穂(にったひろお)さん

■『選木、受け口、追い口、ツル、安全確認。初めて知ることばかりで、とても勉強になりました。切り口は教えていただいたイメージとは程遠いモノにはなりましたが、ケガもなく終えてひと安心。少しずつ成長していけたらと思います。』長門輝(ながとあきら)さん

次回予告です。8月6日(日)小川Fで、8時から地域貢献活動の水路清掃及び草刈り、部会としては、9時から駐車場・墓地周りの草刈り、ナラ枯れの除伐を行います。



梅雨前線による大雨、山本鹿ヶ谷基地周辺は特に被害はありませんでした。

数年前の大水害による東山本川砂防工事(災害関連緊急事業・砂防堰堤を数ヶ所設置予定)により、隣りの春日野団地からの工事用進入路工事がやっと7月11日から着手されました。(伐採や河川横断道路の建設など)また、基地直近かに堰堤設定計画があ

り、今後進捗状況に応じて駐車場や作業スペースなどの調整が必要になりそうです。スズメバチの巣も発見し、駆除しました。

今月は、ゆうゆう・もりメイトキッズ等で使用する部材作成や基地周辺の除草などを行いました。部会参加者は簡易製材講習会を含め述べ43人でした。



スズメバチの巣と部材の製作をする竹原さん



樹木いきいき講座 <その20> 3班 藤原満男

～マムシの話～

隣の田植えの2日後、梅雨入りの日。レタスを収穫中にマムシが居たとの一報。近所の人は、火バサミで生け捕りにして焼酎に浸ける。私はこれまで刈払機でやっつけたり棒で叩いた。今回は高枝切り鋏で頭に近い所をつまんで川に流した。

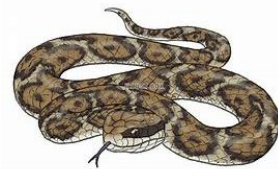
他の蛇は頭から尻尾まで同じ太さで一本の線のように見える。だがマムシは胴が太く短い、灰色から赤色の銭形模様。

待ち伏せ型なので、あまり動き回らない。他の蛇は近づくと逃げることが多いが、マムシはじっとしているので踏んでしまうこともある。

活動期は4月から10月。
晩春と初秋にピークがある。
水辺や湿った所を好む。

見つけたら刺激しないで遠巻きに通り過ぎる。咬まれたら口を使わず絞り出す。毒が急激に回ることはないので、あわてず身体を激しく動かさず、医者の治療を受ける。

予防としては、長靴を履く、作業するところを棒で探り出す、用心深く見る。



日本には、約50種類のヘビが生息していますが、沖縄などの南西諸島を除く、北海道から九州に生息するヘビは8種類のみ。ヘビの種類は「アオダイショウ、シマヘビ、ジムグリ、シロマダラ、ヤマカガシ、ヒバカリ、タカチホヘビ、マムシ」。特に注意が必要なのは有毒の「マムシ」と「ヤマカガシ」。**マムシ**は体長40～65㎝で太い姿が特徴的。頭は先端が尖った三角形をしており瞳孔は縦型のネコ目タイプ。**ヤマカガシ**は、トラ柄を連想させるような黒と赤の市松模様。幼蛇は首の後ろに黄色いバンド模様がある。1970年代頃まで無毒扱いされていたが、とても強い毒を持つ。通常は体長約60cm～120cmくらいだが、大きい物は150cmほどになる。頭はマムシと違い尖っておらず、細めで丸い形状で瞳孔も丸い



原田 澄



マルバノキ(丸葉の木)

<マンサク科 マルバノ木属>

日本固有の落葉低木～小高木。本州中部地方以西と四国の^{かこうがん}花崗岩地などのやせ地にまれに自生する。葉身は長さ6～12㎝。葉柄が長く、丸みのあるハート形が特徴。秋には紅色に美しく紅葉する。花は、秋に葉が紅葉して落葉しそうな頃、7～8mmの星形で暗赤色の花を2個横向きに付ける。実は1.5㎝の蒴果で殻に入ったまま年を越し、翌年の花咲く頃に熟して種を散布する。庭木にもしばしば植えられる。別名ベニマンサク。廿日市市「大野自然の森」にあるベニマンサクは、全国的に自生地が少なく、貴重な植物であるため、広島県の天然記念物に指定されている。・・・▼師と仰ぐ大切な友人が届けてくれたのはベニマンサク。ハート形の葉、ふっくらした実もハート形。思わず心がふんわり優しくなるような。花言葉は「幸福の再来」。▼今年も8月6日、「原爆の日」が迫る。ウクライナをはじめ世界各地で先の見えない戦争が続く中、負の遺産を有した“ひろしま”の、この地で襟を正し平和の尊さを噛みしめ、幸福の再来を、心から願う。～佐伯区湯来町 2023・7～



—8月— 活動の予定

各部会はどなたでも自由に参加できます。ぜひ、いろいろな活動をご体験ください

24時間テレビ46「愛は地球を救う」立会募金活動に参加します



- 時：8月27日(日) 17:00~18:00
- 場所：マックスバリュウ西風新都店
もりメイト倶楽部 Hiroshima は「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」で、イオン様から毎年ご寄付をいただいています。コロナの関係で3年ほど立会募金を中止していましたが今年再開。倶楽部のPRも兼ねこの募金活動キャンペーンに参加します。是非お立ち寄りいただき募金に参加してください。

- 日時：8月6日(日)8:00~15:00
- 場所：小川フィールド
~安佐北区白木町中三田地区~
- 作業：8時から地域貢献活動の水路清掃及び草刈り。通常の里山部会は、9時から駐車場・墓地周りの草刈り、ナラ枯れの除伐作業。
- 持参品：水筒・弁当・山の道具
- 連絡先：岩田 080-5751-3798



広島市の花「キョウチクトウ」。被爆後初めて花を咲かせ皆に勇気と希望を与えてくれました。

<8月の環研部会はありません。>

11月5日(日)に第3回のもりメイトキッズを予定しています。~テーマは「鳥」~
巣箱設置と、巣箱周辺の整備を行い、鳥が好む木を植えます。興味のある方は連絡ください。



■連絡先：佐々木

mamakin0404@yahoo.co.jp



~自家木工・クラフト製作~
自由に参加お待ちしております~

- 8月は5日・12日・19日の土曜日、山本鹿ヶ谷基地で活動します。
- 連絡先：岩田 080-5751-3798



9月号の会報発送作業は下記の通り、実施します。どなたでも、都合のつく方はご参加ください。

- 日時：8月30日(水) 18:00~
- 場所：袋町市民交流プラザ3F



会員 & ご寄付の募集



もりメイト倶楽部 Hiroshima は、「森の再生と自然保護を図る市民の森づくり活動」の先頭に立って森林保全の整備活動を展開しています。会員への技術研修や安全講習会などを開催する他、山で採れた木材を利用した木工クラフトの作成指導、青少年等に森林管理の重要性を伝えています。私たちの活動に共感、賛同して一緒に活動していただける方、またはご寄付を募集しています。

会員の種類

- 【正会員】：倶楽部の実作業と組織運営に積極的に関わる、個人及び団体。
- 【賛助会員】：倶楽部の事業を応援するために入会した個人及び団体。

年会費

- 【個人会費】：3,000円
- 【企業会費】：50,000円

お申込み方法

下記まで電話、又はメールで
【電話】090-6419-7531
【Email】info@morimate-ch.com

会費・ご寄付の振込先

【広島銀行 白島支店】(普) 3283383
【ゆうちょ銀行】15170-18029291
《口座名》：トクヒ) モリメイトクラブヒロシマ